

平成30年度第2回「町民との意見交換会」

日 時 平成30年10月21日（日）
午後1時から3時
場 所 町民センター 講堂

次 第

○司会進行：企画調整課長

1 開 会

2 町長あいさつ

3 意見交換会

《第1部》

- 真鶴町ランドデザインの策定（資料3）

【休 憩】

《第2部》

- 真鶴町の防災
- 将来を担う子どもたちのために、行政と町民ができること

4 閉会あいさつ [副町長]

（配布資料）

- ①「将来を担う子どもたちのために、行政と町民ができること」意見記入シート
- ②平成29年度一般会計主要事業の概要（資料1）
- ③テーマ募集における「町民からのご意見やご提案」への回答等（資料2）
- ④真鶴町ランドデザインの策定について（資料3）
- ⑤町民のみなさまの声をお聞かせください（ランドデザインへの意見記入シート）
- ⑥平成30年度第2回「町民との意見交換会」参加者アンケート

お帰り際には、アンケート用紙の提出をお願いいたします。

《第1部》 ○テーマ1： 真鶴町ランドデザインの策定

MEMO

《第2部》 ○テーマ①： 真鶴町の防災

MEMO

○テーマ②： 将来を担う子どもたちのために、行政と町民ができること

MEMO

「将来を担う子どもたちのために、行政と町民ができること」

意見記入シート

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

◇ 平成29年度一般会計主要事業の概要

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
総務費	総務管理費	1 移住定住推進事業	1,572	<p>○業務委託料 281千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お試し移住体験施設PRチラシの作成、移住に関する情報や町情報を総合的に集約した移住希望者向けのポータルサイトを整備 <p>○移住定住推進事業補助金 800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体へ補助金を交付し、サテライトオフィス等企業が「働く場真鶴」を検証・体験する事業を実施 	<p>●お試し移住体験事業のチラシの作成やポータルサイトの整備による効果的なプロモーションを行えるようになり、「働く場・真鶴」として今後誘致していきたい企業や人材、真鶴町双方が求める事項を分析することができ、効果的な誘致活動の推進に活かすことができました。</p>	<p>●地域活性化センター交付金を活用した本事業は平成29年度で終了となりましたが、事業で得られた成果をその他の移住推進・地域活性化事業に活用していきます。</p>	政策課
		2 広報事業	3,901	<p>○広報印刷製本費 1,234千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報真鶴の毎月1回の発行 <p>○公式ホームページ運用業務委託料 1,166千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度にリニューアルした町公式ホームページの運用 <p>○FM放送委託料 1,296千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FM放送を活用し「広報真鶴」の内容を中心とした行政情報等の提供 	<p>●広報を新聞折込等により配布しました。</p> <p>●職員がタイムリーにホームページを更新することができるようになりました。</p> <p>●FM電波を利用することで、広報真鶴の内容だけでなく、イベントの中止等のお知らせを円滑に周知することができました。</p>	<p>●読みやすさを重視してレイアウトや文字の大きさを変更していきます。</p> <p>●情報を充実していくために職員研修を実施します。</p> <p>●より多くの町民にFM放送をしていることを周知するため、また、町外からの来場者への情報ツールとして、利用者の活動に影響の少ない公共施設（館内）での放送を実施します。</p>	企画調整課
		3 ふるさと応援寄附金事業	14,026	<p>○ふるさと応援寄附金謝礼品 3,390千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと応援寄附金寄附者への寄附御礼品（干物セット、宿泊券等） <p>○ふるさと応援寄附金業務委託料 1,220千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトによる寄附募集・宣伝、寄附受付事務等ふるさと応援寄附金に関する事務委託 	<p>●民間によるポータルサイトを活用した広報と、新たな返礼品目の開発により、真鶴町への寄附額は以前よりも増額し、また返礼品を通じ町と返礼品の提供をいただいている町内事業者のPRにもつながっています。</p>	<p>●引き続き新たな返礼品の開発を進め、より多くの寄附を募り、寄附を通じ真鶴町のPRにつながる新たな交流人口の開拓に努めていきます。</p>	政策課
		4 真鶴町オリパラ文化プログラム推進事業	459	<p>○講師等謝礼 312千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピックに向けた真鶴町におけるオリパラ文化プログラム開催を目指し、検討準備会においてプログラム案・推進体制の事業スキームの構築や事業推進に係る資金調達の検討 	<p>●プログラムの中心事業である石彫展開催に向け、準備会の中で開催案や神奈川県や民間企業との連携について協議を進め、実行委員会の立ち上げと招聘作家選定の準備を整えました。</p>	<p>●平成31年度に立ち上げる予定の実行委員会により、平成31年から32年に本事業の開催・展示を行うため、石彫作品の製作や関連文化イベントの開催を行いません。</p>	政策課

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
総務費	総務管理費	5 地方創生推進交付金移住定住推進事業	14,323	<p>○サテライトオフィス誘致事業委託料 3,456千円 ・サテライトオフィス誘致推進計画・体制構築に関する委託料</p> <p>○ICT教育推進事業委託料 3,761千円 ・ICT教育推進に係る試行・調査に関する委託</p> <p>○真鶴半島美術館振興事業補助金 3,000千円 ・観光コンテンツ「真鶴半島美術館」を堪能するツアー造成事業への補助金</p> <p>○大学連携事業交付金 1,600千円 ・地域活性化に資する事業を提案する大学への交付金</p> <p>○真鶴町創業支援対策事業補助金 9,724千円 ・町で策定した創業支援事業計画に基づき、計画の推進団体へ交付する補助金</p>	●雇用開拓や移住推進といった地域の課題解決の目的のため、サテライトオフィス誘致のための計画策定とコンシェルジュの雇用を行い、また特色ある教育を目指しICT教育の試行・検証、更に新たな交流人口開拓に向けたツアー造成といった各種事業の実施により、仕事づくりから教育・観光といった多方面の移住推進に係る取り組みを実施し、転入者の増加や1件のサテライトオフィス誘致といった成果につながりました。	●引き続き各事業を推進していくと共に、新たに真鶴の自然を生かした子育て環境の価値向上を図るため、「自然保育体験事業」を試行し、更なる移住・定住推進に努めます。	政策課 産業観光課 教育課
		6 地方創生推進交付金産業振興事業	13,883	<p>○岩牡蠣試験養殖事業委託料 3,499千円 ・岩牡蠣試験養殖に係る牡蠣養殖管理委託料</p> <p>○地場産業人材開拓・育成業務委託料 1,989千円 ・岩牡蠣養殖を担う地元人材への指導等に係る委託料</p> <p>○地域商社推進委託料 3,424千円 ・地域商社設立を目指した調査・測量等に関する委託料</p> <p>○農産物新商品開発事業助成金 125千円 ・新たな農作物（オリーブ等）の栽培・研究を実施する農家への助成金</p>	●平成27年度から平成29年度まで毎年6,000個の岩牡蠣を試験垂下し、先進地の指導を受けながら順調に成長を続けています。また、事業化に向けた出荷体制構築のため、販売を担う地域商社、出荷のための紫外線滅菌等の処理を実施する出荷施設の整備のための調査等も実施し、着実に事業を推進しています。また、新たな農作物（オリーブ等）については、平成27年度から平成29年度まで助成事業を実施し、助成を受けた農作物については順調に成長しているため、今後の事業化へ期待が持てます。	●岩牡蠣試験養殖事業に関しては、平成33年度の本格出荷に向けて、引き続き先進地を参考にしながら、環境に適した垂下方法及び管理方法等についての検討を継続するとともに、岩牡蠣の販売を担う地域商社の設立、紫外線滅菌処理等の作業を行う出荷施設の整備を推進します。	産業観光課

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
民生費	社会福祉費	7 社会福祉協議会関係事業	18,116	○社会福祉協議会事業委託料 400千円 ○補助金 17,716千円 ・高齢者世帯の見守りとしてひとりぐらし高齢者等配食サービス事業を実施（年度末登録者42名 延べ1,376食）	●高齢者世帯の見守りも兼ねた配食サービス事業において、平成29年度に室内で倒れていた独居の方を早期に発見できました。また、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業や日常的金銭管理事業など効果的に実施することで、高齢者の孤立化の防止として効果が出ています。	●今後ますます増加していくことが想定される、法的手続き、書類管理における見守りを目的とする日常生活自立支援事業及び日常的な金銭管理事業は継続実施していきます。また、配食サービスについても、継続して事業を実施し、安全・安心を届けます。	健康福祉課
		8 在宅要援護老人等緊急福祉サービス事業	914	○ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム委託料 914千円 ・高齢者等世帯の見守りとして緊急通報システムを委託（27名）	●緊急通報の貸与と、週に一度オペレーターによる電話での会話を楽しみにされている方も多い。平成29年度は緊急通報による救急要請は2件ありました。	●利用者は微増ですが、今後増加が見込まれています。在宅を望まれている方も多く、平成30年度も実施していきます。	
		9 障害者計画等策定事業	2,128	○第3期障害者計画及び第5期障害福祉計画策定委託料 2,128千円 ・障害者基本法第11条及び障害者総合支援法第89条に基づく、第3期障害者計画及び第5期障害福祉計画の策定	●障害者差別解消法、社会福祉法、児童福祉法等改正がなされ、「高齢者」や「障がい者」といった従来の垣根を越え、地域住民が一体となって一人ひとりの生活課題に総合的に対応していく計画の策定ができました。	●障害者差別解消法による不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供など、来る2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「心のバリアフリー」を推進していきます。	
	児童福祉費	10 放課後児童対策事業	4,250	○まなづる学童保育運営補助金 4,250千円 ・子ども・子育て支援として学童保育の運営費を補助（18人）	●児童数の減少と共に入所児童数の減少も否めませんが、放課後の児童の安全安心の確保の観点から魅力ある学童保育を実施していきます。	●放課後児童クラブとの事業の融合など国の施策も大きく変容しており、平成30年度実施予定の子ども・子育て支援計画に係るアンケート調査を分析し、学童保育のニーズ調査も含め見直していきます。	
		11 保育所運営費助成事業	108,844	○保育所運営費助成金 108,844千円 ・子ども・子育て支援としての保育所の運営費を国の基準に準じて給付（4園100人分）	●待機児童のない当町において、適正に保育の実施ができました。また、月1回保育園を心理士が巡回訪問を実施しており、発育発達の相談を早期から実施し、必要に応じて療育につなげられました。	●放課後児童クラブと同様、平成30年度実施予定の子ども・子育て支援計画に係るアンケート調査を分析し、保育のニーズ調査も含め検討していきます。	
		12 小児医療費助成事業	13,412	○小児医療費助成金 13,412千円 ・福祉事業の助成として小児医療費を助成及び児童インフルエンザ店接種費用の全額助成（内592千円がインフルエンザ分）	●児童数の減少と共に対象者数の減少は否めませんが、中学校卒業までの入院・通院費の町単独分について、公費負担することで子育て支援の一助とすることができました。	●引き続き中学校卒業までの入院費・通院費の公費負担を所得制限なし、自己負担なしで継続します。また、児童生徒のインフルエンザ接種費用についても、感染症予防の観点から全額公費負担とし、積極的に周知に努め、勧奨していきます。	

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
衛生費	保健衛生費	13 母子保健事業	3,796	<p>○健康診査事業 3,337千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4、5歳児尿検査(39人:100%)、4か月児(22人:95.5%)、8、9か月児の健康診査(20人:95.2%)及び妊婦歯科健診(2人)、妊婦健診(延べ340件)、1歳6か月児(34人:100%)、3歳児(39人:95.1%)、乳幼児の歯科(111人:82.2%)の健康診査及び3歳児健診視聴覚検査(16人:80%) <p>○健康教育事業 459千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ赤ちゃん教室(14人)、育児セミナー(163人)、親子教室(194人) 	<p>●妊産期からの就学まで切れ目のない健診や支援を継続的に丁寧に関わることで、安心して子育てができるよう配慮しています。各種健診や教室開催において、早期発見をし、必要な相談・治療・療育につなげ、子どもの健やかな成長を支援しています。</p>	<p>●平成30年度も未受診者がいないよう、各種機会を通じて、あるいは訪問するなど受診勧奨を実施していきます。</p>	健康福祉課
		14 健康増進事業	3,880	<p>○健康教育事業 282千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧予防教室(全3回103人)、まなづる生き生き健康体操(延べ2,363人)、ウォーキング講習会(10人)及び食育推進事業(32人) <p>○健康相談事業及び検診事業 3,598千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談事業(延べ173人)、検診事業(胃がん121人:4.2%、大腸がん200人:7.0%、肺がん883人:31.0%、子宮頸がん159人:15.8%、乳がん105人:5.9%) 	<p>●平成29年度に策定した地域福祉計画において、真鶴町は循環器疾患で亡くなる方が全国に比べて多いことが分かり、そのリスク因子の現状分析として、特定健診時に食事調査等を実施しました。協力していただいた261名の方に結果説明会を実施し、現状を情報共有することができました。</p>	<p>●平成30年度も食事の改善や運動習慣等普及啓発に町ぐるみで努めていきます。また、各がん検診の受診率向上のため普及啓発や医師会、歯科医師会、薬剤師会など関係機関と連携していきます。</p>	
	清掃費	15 塵芥処理事業	418,847	<p>○湯河原町・真鶴町衛生組合負担金 369,791千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯河原町・真鶴町の廃棄物の処理及び廃棄物抑制に向けた再資源化の施設の維持管理 <p>○ごみ収集事業委託料 48,586千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の一般廃棄物(各世帯から排出されるごみ及び資源)の収集運搬 	<p>●湯河原町真鶴町衛生組合事業である最終処分場再生整備事業は、計画どおり全工程の約6割を進捗し平成31年3月竣工予定です。</p> <p>●収集可燃ごみ量は前年比で59t、比率で2.82%減量できました。</p>	<p>●最終処分場再生整備事業は、貯留構造物の躯体工事の後、上屋工事、外溝工事等を行なっています。</p>	町民生活課
	16 し尿処理委託事業	48,631	<p>○し尿処理委託料 24,431千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足柄上衛生組合との協定に基づき、し尿及び浄化槽汚泥の処理を委託 <p>○し尿運搬委託料 15,167千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足柄上衛生組合にし尿及び浄化槽汚泥の運搬をするもの(運搬し尿1tあたりの単価契約) <p>○し尿搬入出管理業務委託料 4,752千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・し尿貯留槽の搬入出の管理 	<p>●し尿を適正に運搬し処理できました。</p> <p>【参考】し尿等処理量</p> <p>平成29年度 4,212.19kl</p> <p>平成28年度 4,353.91kl</p>	<p>●引き続き足柄上衛生組合との協定に基づきし尿等を処理委託します。</p> <p>●熱海市・湯河原町と共同でのし尿等処理事業を検討します。</p>		

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
農林水産業費	林業費	17 松くい虫被害対策事業	9,085	○松くい虫被害木伐倒駆除事業 4,594千円 ・松くい虫の被害を受けた松27本を伐倒駆除 ○松くい虫被害対策(樹幹注入剤による防除)事業 4,491千円 ・お林の松309本に対して2,541本の樹幹注入を実施し、松くい虫の被害から松を守る	●薬剤の樹幹注入、被害木の伐倒により、松くい虫被害を最小限に抑えています。	●お林調査の結果を基に、お林保全協議会において保全方法を決定していきます。	産業観光課
	水産業費	18 漁港管理事業	7,291	○機能保全計画策定業務委託事業 7,128千円 ・岩漁港において機能保全計画書を作成	●経済性を考慮した岩漁港施設の保全対策、維持管理計画(長寿命化)を策定しました。	●計画に基づく保全事業を実施していきます。(平成31年度 浚渫工事の実施設計に着手予定)	
商工観光費	商工費	19 商工会補助事業	2,617	○商工会運営費補助金 2,617千円 ・商工会事業に対する補助金(マナ真鶴、しだれ桜の宴、商品券発行等)	●プレミアム(10%)付商品券(販売金額1,000万円・即日完売)の販売やしだれ桜の宴(来場者15,000人)、マナ真鶴(来場者2,000人)に活用され、地域振興に資されています。	●内容を精査しながら、必要な補助を行っています。	
	観光費	20 岩海水浴場運営事業	2,941	○岩海水浴場監視業務委託料 2,590千円 ・7/15~8/28(47日間)、来場者数6,695人 ○岩海水浴場ブイ・ロープ製作事業 253千円	●大きな水難事故もなく海水浴場を開設できました。岩海水浴場は夏期の最も重要な観光資源となっています。	●監視業務や施設の更新を行い、安全な海水浴場として来場者の増加を図っていきます。	
		21 観光宣伝事業	2,532	○観光パンフレット等印刷事業 1,292千円 ・貴船まつり(パンフレット20,000枚、ポスター450枚) ○真鶴まつりポスター製作委託事業 302千円 ・B1判(JR下帯)100枚 ○観光ランドコンセプト・ロゴデザイン作成業務委託事業 91千円 ・フォントロゴ/シンボルマーク+ロゴの2パターン ・各々カラー/モノクロ/白黒の3種 ・組み合わせは、フォントロゴ5種類、シンボルマーク+ロゴ7種類	●貴船まつりポスターは、JRや小田急電鉄の各駅で掲出されており、誘客に資されています。 ●真鶴まつりポスターは、貴船まつりの他岩兒子まつり、マナ真鶴、しだれ桜の宴、豊漁豊作祭等、町内の8イベントを1枚のポスターに集約したもので、経費の削減や年間を通じて掲出ができるようになりました。	●貴船まつり、真鶴まつりポスターは写真等の内容を修正しながら、引き続き作成し、JRや小田急電鉄と連携して、少ない経費で効果の拡大を図っていきます。	
		22 お林展望公園管理事業	8,480	○お林展望公園管理事業 8,480千円 ・利用者パークゴルフ13,117人 バーベキュー474人	●利用者(平成29年度 パークゴルフ13,117人 バーベキュー474人)は前年度に比べ減少していますが、展望公園として、パークゴルフ利用者以外の来場者も多く訪れています。	●利用者のニーズの把握や専門家の意見を聞きながら、公園全体の活用方法を再検討していきます。	
		23 真鶴産業活性化センター運営費	2,496	○真鶴産業活性化センター運営事業 2,496千円 ・釣具貸出委託料(利用者705名) 352千円 ・広告宣伝委託料 チラシ作製(3,000部) 48千円 ・光熱水費 1,517千円	●町財政を圧迫することなく(平成29年度歳入2,621千円)、真鶴港周辺の地域活性化拠点施設として活用されています。(観光案内所、釣具貸出、イベント開催時の拠点施設)	●観光協会と連携し、当該施設を活用した港周辺の活性化事業を実施していきます。	

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
土木費	道路橋りょう費	24 道路維持管理事業	13,927	○調査業務委託 12,663千円 ・橋梁定期点検業務委託（5橋梁）【棚子下橋・馬場2号橋・馬場1号橋・銭神橋・大猿橋】 ・長坂歩道橋ほか橋梁補修設計業務委託【補修工事を実施するための設計委託】	●橋梁点検業務は、平成29年度にて管理橋梁全8橋についての定期点検（5年に1度）が完了しました。 ●補修設計業務では、補修工事に向けた設計が完了しました。	●道路施設の定期的な点検を実施し、維持管理計画や長寿命化修繕計画の見直しを実施していきます。	まちづくり課
		25 道路維持補修事業	25,548	○道路改修工事 23,241千円 ・町道真第340号線舗装改修工事【L= 120.0m、As舗装の打替え】 ・馬場2号橋補修工事【鋼桁補修・杓座拡幅・橋面補修・地覆補修】	●安全・安心に利用できる道路環境の改善を図りました。 ●橋梁については、補修及び耐震補強により橋梁の健全度の改善を図りました。	●維持管理計画や長寿命化修繕計画等により、計画的な補修工事に努めます。	
	都市計画費	26 まちづくり推進事業	13,858	○コミュニティバス運行業務委託料 13,767千円 ・運行日：平成29年4月1日～平成30年3月31日（12月30日～1月3日運休）、利用者数：37,175名	●平成29年度のバス利用者数は、目標としていたおおよその数値を達成しました。	●コミュニティバスをより利用していただくための、利用促進策の導入について検討します。	
消防費	消防費	27 消防事務委託事業	164,114	○消防事務委託費負担金 164,114千円 ・消防事務委託に要する経費の湯河原町への負担金	●真鶴町の消防・救急業務について、遂行することができました。	●町民の安全安心な生活ができるよう、湯河原町消防本部・真鶴分署と連絡を密にしていきます。	総務課
		28 防災備蓄事業	1,417	○帰宅困難者用食料備蓄事業 1,141千円 ・災害時の帰宅困難者用の備蓄食料の購入	●県補助金を活用し、アルファ米3,000食・保存水1,440本・粉ミルク48缶の購入をしました。	●平成30年度についても引き続きアルファ米、保存水等の備蓄食料の購入を実施します。	
		29 防災行政無線維持整備事業	23,418	○防災行政無線(屋外子局デジタル更新)整備事業 21,600千円 ・防災行政無線の屋外子局4局をデジタル化更新	●県補助金を活用し、屋外子局4局を更新し、全ての更新が終了しました。	●屋外子局のデジタル更新が終了しましたが、当町の地形の状況や風向きにより、聞えにくい場所もあり平成31年度に向け、メール等により内容をお知らせができるようにいたします。	

款	項	事業名	事業費 (千円)	主な事業内容	平成29年度の評価や効果等	平成30年度に向けた取組	主管課
教育費	教育総務費	30 心の教室相談事業	1,680	○心の教室相談員謝礼 1,649千円 ・心の教室相談員を学校に配置し、児童・生徒及び保護者の教育・生活指導面での悩みに関し問題解決に向けた相談受付	●担任以外の児童、生徒の身近な相談相手となることで相談体制の一層の充実が図られました。	●関係機関との情報共有や連携した対応を行い、より一層の充実を図ります。	教育課
		31 入学祝金支給事業	2,610	○入学祝金 2,610千円 ・小学校及び中学校に入学する子どもの保護者に入学祝金として30,000円を支給	●子育て支援の一環として保護者の経済的負担を軽減することができました。	●入学前支給の適否について検討します。	
	小学校費	32 学校施設改修事業	18,306	○外構改修工事 3,888千円 ・まなづる小学校の校舎裏に舗装工事を実施 ○トイレ改修工事 13,932千円（平成28年度明許繰越事業） ・まなづる小学校の1階及び3階の男女トイレの洋式化工事（21基中15基を洋式化） ・老朽化していたトイレの建具やタイル等工事	●外構改修工事については、保護者の方から工事を評価する意見をいただきました。トイレについては、洋式化と床、建具等の整備を行ったことにより、学校環境の整備を図ることができました。	●施設の老朽化により、今後、改修費用が要することから、優先順位を決めながら施設改修を計画的に進めていきます。	
	社会教育費	33 青少年関係事業	4,115	○成人式運営委託料 93千円 ○青少年育成連絡会補助金（ふれあいの集い他） 500千円 ○中学生国際交流海外派遣事業補助金 1,873千円 ○グリーンエイド真鶴実行委員会補助金 204千円 ・青少年を対象とした様々な体験事業による青少年の健全育成、青少年関係団体への財政支援による青少年関係団体の育成	●青少年の健全育成を目的とした事業については、社会教育関係団体やボランティアなどの地域の教育力を活用した効果的な事業を実施することができました。	●社会教育委員からの事業改善へ向けた提言を取り入れ、社会教育施設間の連携を密にするとともに、地域の教育力のさらなる発掘を進め、多種多様な事業が展開できるように努めます。	
	34 文化財保護事業	2,637	○文化財だより印刷製本費 137千円 ○貴船まつり保存管理奨励交付金 1,800千円 ○重要伝統文化行事保護奨励交付金 700千円 ・国指定の無形民俗重要文化財や新たに町の重要伝統文化行事にした地域に根ざした伝統文化行事の保護及びこれに係る後継者の育成 ・文化財だよりを全戸配布することにより文化財保護思想の普及	●岩海岸の灯籠流しを新たに町の重要伝統文化行事に指定し、財政的な支援を行うことで、老朽化した祭典に係る備品の更新や修繕を円滑に行うことができました。	●貴船祭りを始めとする伝統文化行事の後継者育成を検討するとともに、文化的資産を活用した教養講座の開催することにより文化財保護思想の普及を図ります。 ●また、東西両小早船の改修を平成31～32年度に行います。		
35 海の学びミュージアムサポート事業	2,972	○海の学びミュージアムサポート事業委託料 1,993千円 ・磯の生物観察会・お林散策・干物作り等、真鶴の海をテーマとした体験事業の推進	●従前から実施している磯の生物観察会、プランクトン観察会の他に博物館内に生物展示を行い、さらには海の月報を発行することにより、真鶴の海の状況を知っていただく機会を拡充することができました。	●公民館や図書館、美術館と連携した事業を展開することで、真鶴の海を知っていただく機会のさらなる拡充を図っていきます。			

◆ 平成30年度第2回町民との意見交換会のテーマ募集における「町民からのご意見やご提案」への回答等

※ご意見・ご提案は、提出されたまま掲載しています。

・募集期間：平成30年8月15日から9月10日まで（27日間）

・提出件数：11名から20項目

・募集方法：広報真鶴9月号、真鶴町ホームページ、自治会回覧、チラシ配布

1 意見交換会の運営方法

No.	ご意見・ご提案	回答等
1-1	<p>○ 「住みやすい、暮らしやすい町にするためには」 －行政にできること、町民にできること－</p> <p>(1) 10月広報の中で、意見交換の時にアンケート用紙に行政と町民のできることを箇条書きに書いていただくので考えておいてください。当日は筆記用具のご用意を、伝えておく。</p> <p>(2) 当日は開会の時に配布したアンケート用紙に10分程度で記入してもらい回収する。会の説明をしている時に係が目を通して分類しておく。</p> <p>(3) 意見交換の時に係から「こんな意見がありました」と提起することで意見が出やすい。意見交換会は限られた特定の人意見が多く、広く町民の思いが伝わりにくい。アンケート後は後に町政の参考に。(町に求めるだけでなく、町民も考え行動すべき)</p>	<p>※ この内容を、第2部の進め方に取り入れさせていただきました。</p>

2 防災全般（総務課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
2-1	<p>○ 取り上げていただきたいテーマは多々あるが（例えばSDGS、過疎、子育て環境等）多くの住民が関心を持ち（持つべきであり）行政にとっても喫緊（と思う）である、下記に関するものをまず提案したい。</p> <p>1 「当町の防災（風水害等自然災害や火災・交通災害など）に関する課題と対応について」</p> <p>STEP 1 まずスタートは心配なこと、心配なところ等各自何でも自由に発言、話し合うことから…</p> <p>STEP 2 その中から重要な課題を抽出し、車座で意見交換を進めて、</p> <p>STEP 3 具体的対応策定に結び付けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少々手間がかかるかもしれない（特に当初は…） ・この方式（車座ミーティング）は、行政への住民参加手法として有効なものと思う。ぜひ定着させていただきたい。 ・微力ながら協力させていただきたいと思っている。 	<p>※ この項目の内容（No.2-1から2-4）は、第2部「真鶴町の防災」として意見交換のテーマとさせていただきます。</p>

No.	ご意見・ご提案	回答等
2-2	○ 真鶴のハザードマップ（活断層等）を作成してもらいたい。	ハザードマップについては、現在津波ハザードマップのみ作成済みのため、平成30年度、県の見直しに伴い、来年度以降に土砂災害ハザードマップの作成を予定しています。また、津波ハザードマップについても浸水深が見直されていることから、新たに作成を考えています。 なお、活断層については、公表されていないことから作成の予定はありません。
2-3	○ 提案：「津波、高潮に備えて緊急避難用の縄ハシゴを、135号線、岩の崖に備えよ。」崖をコンクリートで固めてあるだけで、上に登れないようになっている所が多数ある。生命維持の観点が全く見られないのは大問題であるとする。	平成30年台風12号により、国道135号線で高潮等により被害が発生しましたが、海拔が低い箇所については、小田原市の行政区域となっています。真鶴道路の海拔が低い箇所については、小田原市、湯河原町、真鶴町で国・県に要望しております。
2-4	○ 防災計画について ・避難場所の整備 いつでも使用できる準備はしてあるのか？ ・町としてなんらかの備蓄はあるのか？ ・防災物置には何が入っていて、管理はされているのか？ ・災害時、使える井戸はどこ？	緊急時の避難場所については、各自治会で決められているほか、真鶴中学校グラウンド、まなづる小学校のグラウンド、岩ふれあい館グラウンド、ひなづる幼稚園園庭を想定しています。風水害時の緊急避難場所としては、町民センターを開設しています。また、住居が被災し居住できない場合の指定避難所として4か所（真鶴中学校体育館、まなづる小学校体育館、岩ふれあい館体育館、ひなづる幼稚園園舎）を開設することになっています。 防災の備蓄については、指定避難場所の各防災倉庫に水やアルファ化米等の食糧の備蓄の他、簡易トイレ等の資機材について備蓄を進めています。各自治会でも防災倉庫を所有しており災害に備えております。 町内の井戸については、町では把握しております。また、水道の主要配水池には、大地震で送水管等が破損してもタンク内の水は残り、応急給水等に使用することを想定しています。

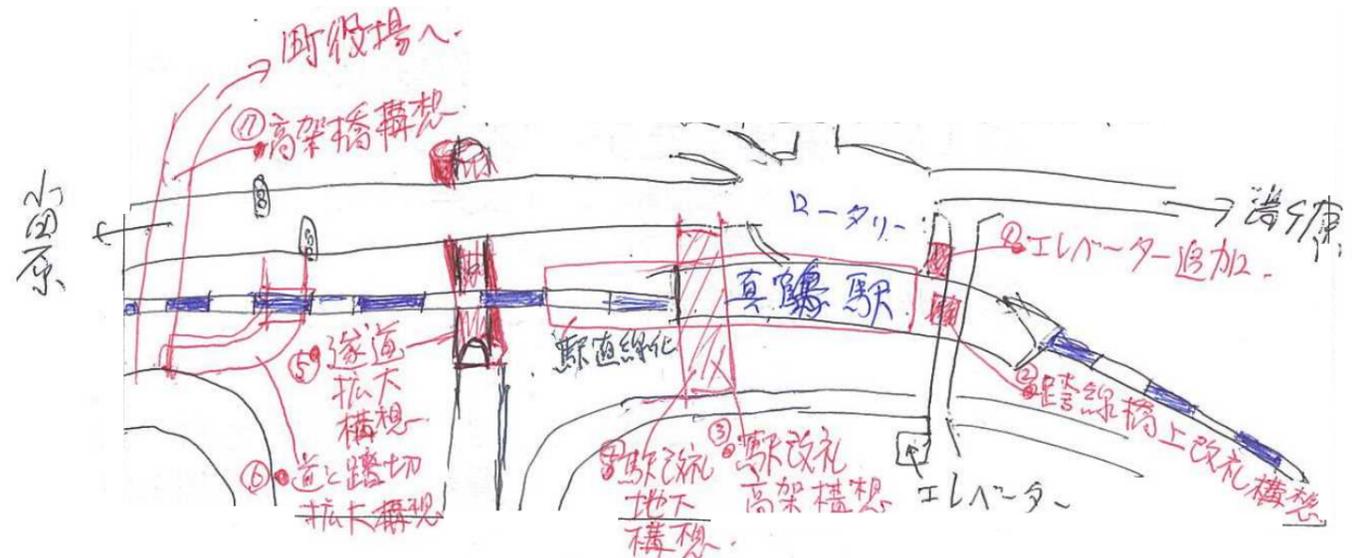
3 防災行政無線（総務課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
3-1	○ 災害時に防災無線で道路、JR線等の交通事情を放送してもらいたい。	日頃からJR真鶴駅と連絡を密にし、災害時の対応について連携を確認しておくとともに、災害時の運行状況については、早急に放送できるよういたします。 また、国道135号線の通行止めについては、道路管理者との連絡を密にし、町民の皆さまに早急にお知らせできるよう体制を整えました。 なお、平成31年度中に自動メール配信により、町民の皆さまには、お知らせできるようにいたします。
3-2	○ 防災行政について・・・町のスピーカーは地形の理由から大変聞きにくい場所が多いと思う。今インターネット（携帯も含む）が普及している中ホームページで内容を確認できるようにしてほしい。（広報収入も入るのでは）	平成31年度中に、防災行政無線の放送内容を自動メール配信できるよう設備改修する予定です。 ホームページは防災に関する情報だけでなく、ご覧いただく皆さんに役立つような情報を掲載できるよう職員研修を実施しております。成果がでるまで今しばらくお待ちください。

No.	ご意見・ご提案	回答等
3-3	○ 防災無線が聞きにくいので、現在の設置位置を考えてほしい。(スピーカーを4つ設置するなど)	現在の設置位置には、一部を除き4方向へ放送するようスピーカーが設置されています。ボリューム及びスピーカーの向きの調整をいたしましたが、真鶴町の地形から一部を除き、出力や向きの調整では対応できない状況です。このため、自動メール配信やホームページへの掲載等に対応をしていきます。 また、平成30年10月から放送を2回繰り返すことといたしました。
3-4	○ 防災無線について・・・駅ウラの中学校や上のテニスコートはよく聞こえるが、丁塚山のうちの兵藤スポーツの周辺は放送内容がよく聞こえません。	

4 真鶴駅周辺整備 (まちづくり課)

No.	ご意見・ご提案	回答等
4-1	○ 駅前通りの活性化をお願いしたい。	※ この内容は、第1部「真鶴町ランドデザインの策定」の中で、意見交換させていただきます。
4-2	○ 駅前の整備・・・周辺の整備はわかるがランドデザインについては計画と予算について住居している町民に説明会を開いてください。	
4-3	○ 意見：駅周辺のランドデザインの中で、駅ビルを造るといがあるが、周辺商店の衰退が必至である。利益が都心に吸い取られることになると予想されるので、再考を促したい。	
4-4	○ 駅周辺の整備 ・共産党の新聞の折り込みに、駅周辺の整備に最大117億とありましたが本当ですか？ ・また、これさえできれば過疎問題は解決するという答弁もあったらしいですが...	
4-5	○ 真鶴駅周辺の整備構想について・・・駅前と駅裏との利便性改善のための「道づくり」「駅裏改札」構想が動き始めたと聞きます。私のいくつかの提案をさせていただきます。(右図参照)	



5 駅南側エレベーター（まちづくり課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
5-1	○ 真鶴駅から跨線橋の階段を利用するのは、高齢者にとって大変である。JRと折衝し、エレベーターが駅裏に自動改札等の措置によりアクセスを改善してもらいたい。	<p>町としては、ベビーカーや車椅子を使用されている方や、視力や足腰の弱い方々をはじめ、跨線橋利用者の利便性向上や安全性の確保を図るため、跨線橋南側エレベーターの設置は必要不可欠と考えていることから、神奈川県に対して早期に設置するよう強く要望を継続してきました。これまで県とJRの間で用地交渉に時間を要していましたが、現在、詰めの協議を行っており、協議が整い次第、設計や測量等に着手する準備ができていると報告を受けております。完成までにはもう少し時間を要することをご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、北口の自動改札につきましては、真鶴駅環境整備基本計画を基に、平成30年度9月に設置しました「真鶴町駅周辺地区構想検討会議」でも検討課題の一つであり、ランドデザインにおいても長期的な計画の部門として検討してまいります。</p>

6 コミュニティバス（まちづくり課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
6-1	<p>○ 今年初めだったと思いますが「コミュニティバス・マナティ」についてのアンケートがありました。私も提出したので、その後どう進展したのか、また、協議していただいているのかを問いたく今回も提出します。</p> <p>やはり第1はバス停の問題です。特に私の住む岩中央11組では年配者が多く、免許を持たない人や返納した人が困っています。</p> <p>旧バス停でいうところの「学校上」がなくなったのは大変不便です。学校前、学校上を1つにし「岩ふれあい館」になりましたが、買い物をした帰りに荷物を持って上るのはとても大変です。中にはタクシーを呼んで帰宅する方もいます。また、「きくや会館」がなくなったことでその近所の人々が「岩ふれあい館」まで歩いています。「岩」が近いのですが足が悪いので下った方がよいというのです。かなりの距離があります。</p> <p>町民の暮らしがよくなるために「マナティ」を取り入れてくれたのなら「バス停」をせめて元に戻すよう切に要望します。他に時間等のこともありますが、今回は特に「バス停」についてお願い申し上げます。</p>	<p>岩ふれあい館前から岩までのバス停については、庁内で検討を重ね、9月26日に開催された町民の代表や交通事業者等を交えた「地域公共交通会議」にて承認をいただき、12月1日を目途に、【岩】バス停と【岩ふれあい館】の間に、新たに1箇所（名称【長坂橋上】／右図参照）を新設することとしました。</p> <p>また、町全体の公共交通については、利用者実態調査の結果を踏まえ、町民が利用しやすい公共交通体系の構築をめざし、継続して検討を重ねてまいります。</p>

凡 例	
新設バス停	◎
既設バス停	●
路線バス旧バス停	▲



7 水道料金（まちづくり課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
7-1	<p>○ 真鶴町の水道代は安くないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市と比べると3～4倍は高い現状 ・三島市の富士の水を分けてもらえないか ・湯河原と一体となって湧水事業をやることは不可能か？ 	<p>真鶴町上水道については、慢性的な水不足を解消するため、自己水源確保等を含めた大規模な施設整備を行いながら、湯河原町からの受水に伴う施設の整備を行ってまいりました。</p> <p>現在は、人口の減少や節水型の電化製品の普及等により慢性的な水不足は解消されており、真鶴町上水道整備基本計画を基に継続的に老朽施設・管路の整備を実施しております。</p> <p>その結果、これまでの施設整備に対する起債償還金や施設の老朽化に伴う更新費用等の支出に対して、収入の根幹である給水収益の減少が要因となり経営を圧迫していることから、県内の他団体と比べ高い使用料設定（全国的には概ね平均的な料金）となっております。</p> <p>また、水道料金につきましては、水道事業の健全化及び経営状況等を踏まえ、概ね3年を目途に、適正な料金体系について多角的な視点から見直しを図り、現行の料金体系となっております。</p> <p>湯河原町との広域的な取り組みは、水道事業の安定的経営及び利用者への安定的供給を目的とし、将来にわたり事業の広域化に向け、継続して検討を進めていきます。</p> <p>ご提案の三島市からの分水について、水源は独自の深井戸と静岡県企業局から柿田川湧水を受水している状況や、約40kmの距離を考えると物理的に困難なことが考えられます。</p>

8 美術館の運営（教育課）

No.	ご意見・ご提案	回答等																
8-1	<p>○ 〈町民として知りたいこと〉中川一政美術館の収支について</p> <p>①美術館の年間収入 ⇒年間収入</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 入場料収入 2) その他の収入 <p>②美術館、運営・維持のための年間経費 ⇒年間経費</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 会館、作品の維持管理費（空調、建屋、周辺設備の維持・管理費） 2) 職員の人件費 <p>・①-②を知りたい</p>	<p>平成29年度決算額は、次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">① 美術館の年間収入</td> <td style="text-align: right;">6,554,210円</td> </tr> <tr> <td> 1) 入場料収入</td> <td style="text-align: right;">5,092,010円</td> </tr> <tr> <td> 2) その他収入</td> <td style="text-align: right;">1,462,200円</td> </tr> <tr> <td>② 美術館の運営・維持のための年間経緯費</td> <td style="text-align: right;">22,936,428円</td> </tr> <tr> <td> 1) 会館、作品の維持管理経費</td> <td style="text-align: right;">8,223,309円</td> </tr> <tr> <td> 2) 職員の人件費</td> <td style="text-align: right;">9,338,469円</td> </tr> <tr> <td> 臨時職員賃金</td> <td style="text-align: right;">5,374,650円</td> </tr> <tr> <td>①-②=△</td> <td style="text-align: right;">16,382,218円</td> </tr> </table> <p>収入については、展示だけではなくロビーコンサートの開催等を通して来館者数の増へつなげたいと考えています。維持管理経費については、平成30年度中に照明器具のLED化を図るなど、支出の抑制に努めます。</p>	① 美術館の年間収入	6,554,210円	1) 入場料収入	5,092,010円	2) その他収入	1,462,200円	② 美術館の運営・維持のための年間経緯費	22,936,428円	1) 会館、作品の維持管理経費	8,223,309円	2) 職員の人件費	9,338,469円	臨時職員賃金	5,374,650円	①-②=△	16,382,218円
① 美術館の年間収入	6,554,210円																	
1) 入場料収入	5,092,010円																	
2) その他収入	1,462,200円																	
② 美術館の運営・維持のための年間経緯費	22,936,428円																	
1) 会館、作品の維持管理経費	8,223,309円																	
2) 職員の人件費	9,338,469円																	
臨時職員賃金	5,374,650円																	
①-②=△	16,382,218円																	

9 教育施設（教育課・健康福祉課・企画調整課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
9-1	○ 教育施設（教育課） ・ 保育園、小学校、中学校、エアコンの設置はありますか？	ひなづる幼稚園については、保育室の全室と職員室に設置済みです。小学校については、普通教室の全室と特別教室の一部について設置済みです。中学校については、普通教室の全室と特別教室の一部について設置済みです。未設置になっている他の特別教室については、利用状況を考慮し、学校と協議して学習環境の整備に努めます。 町内に公立の保育園はありませんが、私立の2園には、事務室・保育室等全ての部屋にエアコンは設置済みです。 ※貴船愛児園：事務室1、ランチルーム1、保育室3 ※石田保育園：事務室1、保育室5
	○ 教育施設（企画調整課） ・ 図書館の1階ロビーのソファまたは椅子は、なんであんなに汚れているのか？清潔で気持ちよくいつまでもいたいスペースであってほしい。	情報センター1階ロビーの椅子やソファは、施設建設当時から使用しており経年劣化等により汚損している状況です。まずは現在対応が可能な清掃やカバーの設置で対応し、さらにご利用される方が気持ちよくご利用いただけるような対策を検討し、早期に対応してまいります。

10 魚座（産業観光課）

No.	ご意見・ご提案	回答等
10-1	○ 魚座 ・ 水槽は直して動かす気はないのでしょうか？ ・ きっと経費がかかりすぎるのだと思いますが、4時に閉店してしまうのも観光客中心の設定で値段高いし、いつも一緒のメニューの感じで面白み無し。住んでいる人が行きたいと思える店に。	魚座は平成7年の開館から20年以上経過し、施設全般的に老朽化が進んでおり、現在、エレベーターは塩害による腐食が進み稼働しておらず、その他に雨漏り対策やエアコンの改修が必要な状況で、平成30年度は過疎対策事業債を活用して食堂運営に必要な改修を実施します。 懸案となっている水槽は、専門業者で調査したところ、抜本的な機器の交換が必要で、再稼働が難しい状況です。 食堂の運営につきましては、現在指定管理として民間が運営しており、漁獲量の減少や施設の老朽化により運営が厳しくなっていますが、指定管理者にも営業時間、メニューや値段について要請してまいります。

真鶴町ランドデザインの策定について

1. 策定の背景・目的

人口減少や高齢化が進み、神奈川県で唯一「過疎地域」に指定された真鶴町では、この先何十年にもわたり自立していくために、長期にわたる町の方向性を示すランドデザインを作っています。

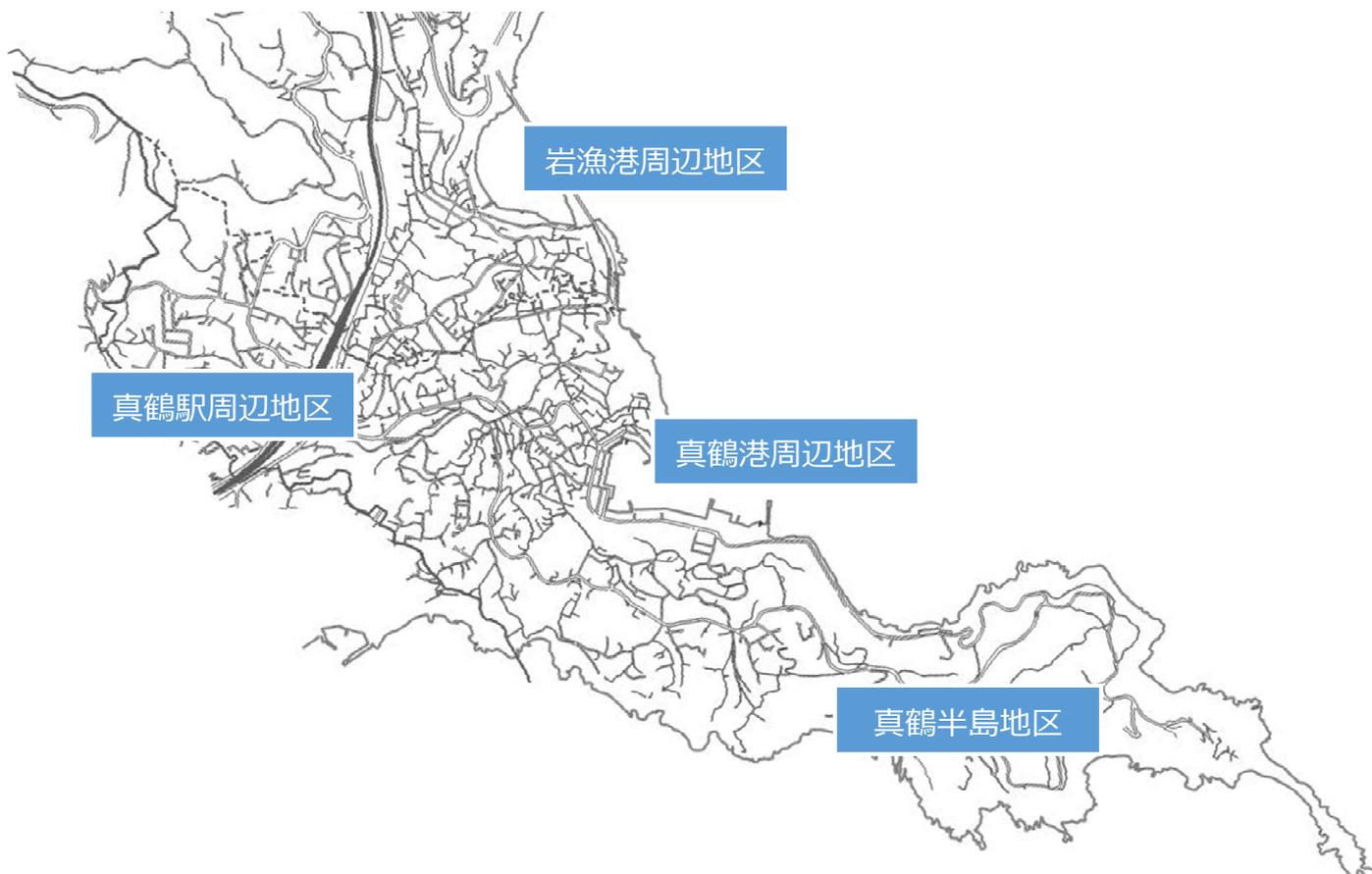
ランドデザインでは、町全体として、過疎対策・自立促進を図りつつも、真鶴らしさを極力残していく方向性を検討しているところです。

また、町全体での方向性を基に、主要な地区ごとの方向性を示したランドデザインも作ることで、地区ごとの特色を出していきたいと考えています。

真鶴町の将来イメージを定めていくうえで、町民の皆様のご意見も伺いながら進めていきたいと考えていますので、どうぞご協力をお願いいたします。

2. 地区ランドデザインの対象地区

下図に示すような「岩漁港周辺地区」、「真鶴半島地区」、「真鶴港周辺地区」、「真鶴駅周辺地区」の4つの地区ごとに地区のランドデザインを作ります。



3. 各地区グランドデザインのコンセプト等（案）について

各地区のグランドデザインを作るにあたり、町では、以下のように各地区のコンセプト等を考えています（現時点での町としての案です）。

岩漁港周辺地区

■コンセプト

岩漁港のポテンシャルを活かして観光・交流人口を増大させ、「まちの活力」として、地域の活性化を図る

■方向性

- ・漁業のさらなる振興
- ・岩地区のにぎわい創出

真鶴半島地区

■コンセプト

真鶴の「まちの源」として、お林をはじめとした貴重な地域資源を守りつつ、この場所に来たときに「真鶴らしさ」を味わえるような活用も検討する

■方向性

- ・お林をはじめとした自然、歴史、文化の保全
- ・観光、滞留拠点の整備による地域の魅力向上

真鶴港周辺地区

■コンセプト

歴史を感じる「まちの起点」として、貴船まつりや様々なイベントを通じて、にぎわいの創出を図る

■方向性

- ・県が施設整備を進める中、ソフト的な施策による真鶴港周辺の魅力向上
- ・真鶴港周辺地区の町施設の再活用等による にぎわいの創出

真鶴駅周辺地区

■コンセプト

「まちの顔」として、交通利便性の向上と来訪客の増加に向けて整備する

■方向性

- ・都会的な整備ではなく、美の基準を意識した昔ながらの良さを活かす整備
- ・ロータリーの再整備による人の流入の誘導
- ・安全かつ快適に移動できる駅前、にぎわいのある駅前の形成

町民のみなさまの声を聞かせください

(ランドデザインへの意見記入シート)

町では現在、4地区のランドデザイン（将来構想）の作成に取り組んでいます。町民のみなさまが、今後、真鶴町をこんなふうにしていきたい！というお考えを、それぞれの地区ごとに、お聞かせください。

以下の視点でのご意見をいただけると幸いです。

* 今後、数年の展望はもちろん、何十年も先を見据えたご提案

* 実現可能性にとらわれない、自由なご意見、夢のようなものもオッケー！

* 今後、こうなったらいい！こんなとこだと素敵！といった前向きなご提案

岩漁港周辺地区	
(ご意見) こんな地区だったらいいな！	

真鶴半島地区	
(ご意見) こんな地区だったらいいな！	

真鶴港周辺地区	
(ご意見) こんな地区だったらいいな！	

真鶴駅周辺地区	
(ご意見) こんな地区だったらいいな！	

その他、町全体に関すること	
(ご意見) こんな町だったらいいな！	

貴重なご意見、ありがとうございました。この用紙は、会場出口にある「ご意見箱」に入れていただくか、後日、町役場企画調整課までご提出をお願い致します。

平成30年度第2回「町民との意見交換会」
参加者アンケート

1 お住まいの地域				
岩	真鶴	その他（	）	
2 性別				
男	女			
3 年齢				
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
60歳代	70歳代	80歳以上		
4 参加しやすい曜日や時間帯（複数回答可）				
【曜日等】	平日	土曜日	日曜日	祝日 いつでも
【時間帯】	午前	午後	夕方	夜間 いつでも
5 今後、意見交換したいテーマ				
6 自由意見（今回の実施方法や町に対する意見など自由にお書きください。）				

ご協力ありがとうございました。